

一羊会だより

発行
 社会福祉法人一羊会
 事務局 〒663-8241
 西宮市津門大塚町1-47
 電話 (0798) 31-1760
 FAX (0798) 31-1763



2022年シーズンのあとりえすずかけプリントTシャツの完成に伴い、先日、宣伝写真の撮影が行われました。モデルを務めてくれたのはジョイントホーム事業課の古井職員。ロケ地の協力をしてくださったのは、あとりえすずかけと同じ西宮中央商店街にお店を構える「大垣花店」さんです。創業50年の老舗花屋を営まれるこちらのご夫婦は、あとりえすずかけのイベントにもよく顔を出してくださったり、メンバーの皆さんが店先を通る際には、温かい声をかけてくださったりと、日頃からいいお付き合いをさせて頂いています。

撮影で古井職員が着ているのは、メンバーの小山充基さんの絵がプリントされたTシャツ「みつぷよ」です。あとりえすずかけ新聞の中でも、Tシャツの紹介をさせて頂いているので、是非ご覧ください。

特集

- 一羊会 法人全体研修の報告 3
- あとりえすずかけ新聞 4・5
- オンラインショップ『おかし工房SUZUKAKE STORE』
オープンのお知らせ 10



一羊会ホームページ
 へはこちらから



新年度を迎えて

理事長 三浦 昇

毎回の挨拶に新型コロナの話題が入るのが日常的な今日この頃ですがいかがお過ごしでしょうか。

2022年度、一羊会ができて46年目、間もなく50年の節目を迎えようという年になりました。現在の一羊会はなかなか思うように事業展開もままならず財政的にも低迷状態にあります。今年度は奮起して滞っている元浜ホームの開設や運営の活性化に向けて職員一同頑張ってもらいたいと思います。

北部展開については現状ではなかなか先が見通せない状態が続いており残念ながら見直しが必要な時期にあると考えています。

しかしながら、今は困難であっても目指すものは理念にあるように地域で当たり前暮らししていくことに変わりはありません。

作業所づくり運動と一緒に取り組んできた長崎さんの娘である早百合さんが4月14日、56歳で亡くなったという突然の訃報がはいってきたのには驚きました。

養護学校卒業後「すずかけ作業所」に入所し、重いしょうがいがあってもみんなと一緒に作業に取り組んだり、旅行に行ったり、キャンプに行ったり、施設交流運動会に参加したり、38年の長い付き合いの中で働くこと、暮らしを楽しむことを一緒に取り組んできました。若かりし頃の楽しかった思い出がよみがえります。晩年は体調も崩していたようでホームでの暮らしも大変だったようです。先日10数年ぶりにお母さんとお会いして少しの時間でしたが思い出話を懐かしく語りました。

長い歴史の中で先に天国に行った仲間たちと旧交を温めてくださいね。早百合さんのご冥福を祈ります。

話は変わって、4月9日は職員の辞令交付も含めた全体研修でした。ウェブ形式での研修、辞令交付は代表による対面での交付といったプログラムと野澤和弘さんの基調講演で1日充実した研修会でありました。

本来の対面で実施できればもっと印象深い研修になったことでしょう。

講演の中で「津久井やまゆり園」での事件の話は重いしょうがいがあっても人としての命の尊厳、重みをしっかりと自分の人生に位置付けることの大切さを改めて感じるものでした。役に立たない、生きる価値がないといった価値観、効率ばかりを重視する一方的な考え方に流されるのではなく、生まれいずる命そのものの大切さを教育の現場でしっかりと育んでもらいたいものです。

その為の教育の大切さ、命の大切さを学ぶ、教育現場で伝えていく力が弱くなっているような気がします。私たちの取り組みは歴史的に見ても阻害されてきたしょうがいがある人たちの命と暮らしをしっかりと打ち立てていく事、当たり前生きていきやすい地域社会を創ることに他なりません。一羊会の理念はそこにも通じるものだと思います。

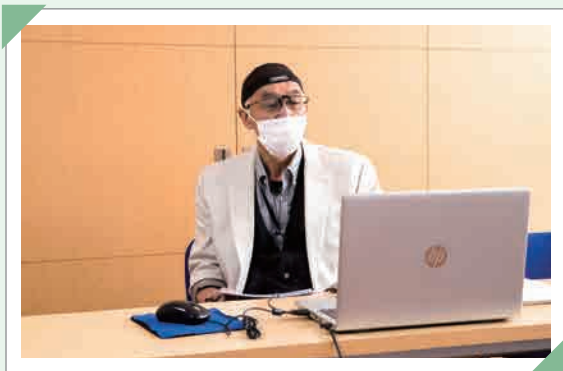
人という文字があらわすように、人は人と人との間で人となる。互いに支えあえる人と人との関係を大切にできる教育や学校づくり、地域づくりを一人一人が自覚的に取り組むことが常に求められているのだと思います。

最後に、ウクライナの早期解決を祈りながら新年度の挨拶と致します。

引き続きご支援よろしく申し上げます。

2022年度

一羊会法人全体研修



訓示で一羊会の成り立ちや理念について語った三浦理事長。



講師の野澤氏を招いてのパネルディスカッション。



今年も盛り上がりを見せた新任職員紹介コーナー。



辞令交付式で新役職者(主任)代表として辞令を受け取った羽生主任。

2022年4月9日、一羊会の職員を対象とした法人全体研修が開催されました。コロナ禍の中、3年連続のオンライン開催ということで、ZOOMを使っでの研修にもすっかり慣れた気がします。

今回の全体研修は『チェック＆ブラッシュアップ～自己点検と磨き上げ～』というテーマに沿って進められ、職員ひとりひとりが普段行っている仕事について見つめ直す貴重な機会となりました。

三浦理事長の訓示からはじまった午前部では、法人理念や事業計画を再度確認する時間を持ち、今年度から新たに設置された『虐待防止委員会』の法人内での運用について職員全体で共有しました。

午後の部では、基調講演として植草大学副学長の野澤和弘氏にご登壇頂き、『かけがえのない命の発信』というテーマで、胸を揺さぶられる素晴らしいご講義を頂きました。元ジャーナリストであり様々なキャリアをお持ちである側面と、知的しょうがいのある子を持つひとりの親であるという側面を持つ野澤氏の、緩急の効いたエピソードの数々に職員一同時間を忘れて聞き入りました。

また、その後に行われた質疑・パネルディスカッションの時間では『利用者さんにとって魅力ある人・事業所となるために必要なことはなにか』というテーマに沿って、パネリストの職員と野澤氏が意見交換をし、支援に活かせる様々なアドバイスを頂きました。

新たな知識、様々な人の捉え方や視点に触れ、それぞれの職員が自分自身や支援について考えを深める時間となりました。

法人としての使命や役割を職員全員で再確認し、新たな年度のスタートを切っています。

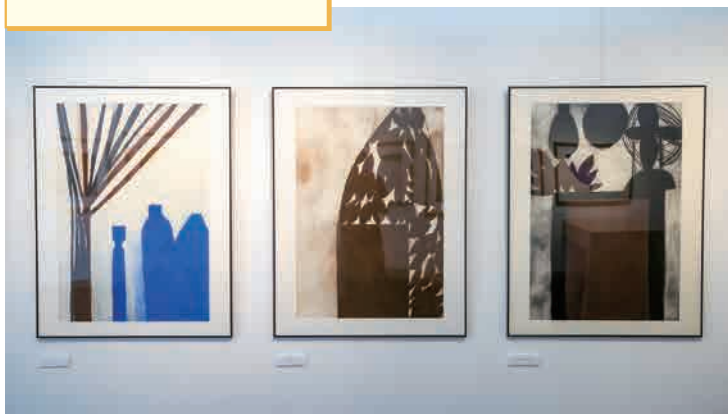
あとリエ すずかけ 新聞

第24便 2022.5
撮影／編集：神田 浩平

未発表の作品も数多く並び、会期中に複数回来場されたリピーターの方もいらっしゃいました。

2022年4月14日～4月19日までの間、『すずかけの間』その⑥出張編～舛次崇展～が甲子園にあるギャラリーアライさんで開催されました。

今回の展示会は、昨年一月に亡くなられた舛次崇さんご家族が主催され、あとリエすずかけはそのサポートをさせて頂きました。ギャラリーアライさんでは1997年に舛次さんの個展を一度開催させて頂いて、今回は実に25年ぶりの同ギャラリーでの開催。舛次さんが生まれ育った町ということで、舛次さんが生前お世話になった方々を含めて本当にたくさんの方がご来場くださり、ギャラリーは連日大盛況でした。



展示を観て、テラス席でゆっくりしてってくれたすずかけ第2作業所の皆さん。

特別展示された1枚の絵日記には、小学生の舛次さんが過ごした“あるお正月の一日”が描かれています。

25年前の個展にも来場していたすずかけ作業所の尼崎さん。絵を眺めながら当時の思い出を語ってくれました。



2022年シーズンのあとりえずすかけTシャツカタログが完成しました!

今年も新作を多数ご用意しております。Tシャツの画像は一羊会のホームページからもご覧頂けます。
ご購入希望のお客様は、是非あとりえずすかけまでメールでご連絡ください。ateliersuzukake@yahoo.co.jp



みつぶよ「さくらまつり」に参上!

2022年4月3日に西宮浜で『さくらまつり』が開催されました。
 西宮浜医療福祉ネットワークさんからの依頼で、あとりえずすかけのメンバーである小山充基さんがブースの看板に使用する絵を描きました。
 医療福祉ネットワークの愛称を決める選挙が開かれたり、地域の困りごとを受け付けたりと地元の皆さんが集ったブースを、小山さんが描いた“みつぶよ”が彩りました。



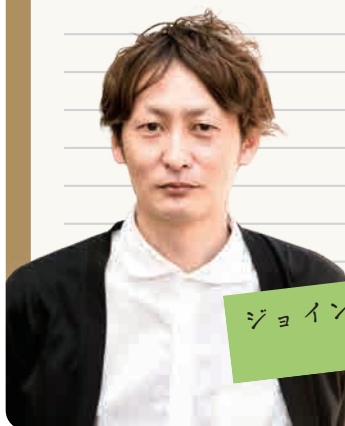
※西宮浜医療福祉ネットワークとは、西宮浜にある介護保険事業所・医療関係(薬局、病院)、コープマリナパーク店などが顔の見える関係作りをするために、西宮市社会福祉協議会と共に組織されたネットワークです。



新管理者紹介

4月よりホーム事業課から居宅支援事業課に異動となり、課長・管理者となりました増田亜仁です。

2005年にジョイントに入職して、2007年からグループホームの担当・サビ管・主任として働いてきました。異動からまだ日は浅いですが、ご利用者との外出や短期入所での宿泊はフレッシュな気持ちと、改めて皆さんとの関わりの楽しさを感じており



ジョイント居宅支援事業課
課長 増田 亜仁

ます。短期入所、移動支援、居宅介護等、事業は多くありますが、グループホームとは違ったやりがいを模索しつつ、ご利用者と一緒になって楽しむ等の視点は継続して日々の業務に取り組んで行きたいと考えております。

居宅支援事業課は昨年度と管理者以外の職員体制は変わっていません。土台はすでにある物と考え、その土台にホーム事業課での15年間で培ってきたものを、追加していけたらと考えております。

また、コロナ禍で事業の利用が制限されている中ではありますが、その中でも出来ることを模索しつつ、感染等の対策をしながらご利用者の余暇等を提供していけたらと考えております。

まだまだ、管理者としては前任者に頼ることが多く未熟ですが、日々精進してまいりますので温かい目で見守って下さい。よろしく願いいたします。

2006年に一羊園の生活支援員として入職し、2018年よりジョイント相談支援事業課こんばすに配属となり一羊会では16年経ちましたが、関わりの中から学ばせてもらったことを大切に楽しく働いています。

この度、こんばす管理者に就任する上で理念や歴史を振り返る機会となりました。一羊会は、利用者の皆様/家族の皆様とともに「誰のための法人なのか」「ひとりひとりがその人らしく社会の中で生きていく」ということを第一に考え、障がい福祉の制度が整備されていない時代や様々な変革がある中で先進的な取り組みを行ってきています。これまでに築いてきた歴史や活動、理念を次の世代に伝えていくことやこれから新たなものを築いていく上での礎としていくことが自身の役割ではないかと考えます。

また、利用者の皆様がその人らしく当たり前の生活を楽しめるように、ともに笑い、ともに悩み、時にはぶつかり合うこともあるかも知れませんが、今後も様々なことを学ばせていただき、笑顔溢れる法人/事業所づくり、地域とのつながりづくり、より良い福祉の仕組みづくりなどを皆様と一緒に考えていきたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。



相談支援こんばす
課長 中田 祥貴

2022年度法人事業計画

基本理念

「一羊会は誰のためにあるのか」をいつも考え、「しょうがい」のある人たちの願いやおもいを大切にします。

また、ひとりひとりがその人らしく社会の中で生きていくことができるための取り組みを進めます。

1. 住み慣れた地域の中であたりまえに働き、活動し、いきいきと暮らせることをめざします。
2. ひとりの人間として大切にされ、自分で決めることが尊重されるような支援をめざします。
3. 地域の方と協力し、みんなが安心して暮らせる地域づくりをめざします。

基本方針

- I. しょうがい福祉分野のパイオニアとして、新しい時代、ニーズに対応していくことを目指します。
- II. 就労や日中活動支援をより充実させ、地域のニーズに対応できる支援体制の整備を図ります。
- III. 地域生活移行支援の取り組み等、地域生活支援をより充実させていくための事業展開と運営体制の確立を目指します。
- IV. 医療機関等他の社会資源との連携を密にし、高齢化問題に対応できる支援体制を目指します。
- V. 適切な支援が行える人材を確保・養成し、支援の質の向上を図り、法人全体のサービスの充実を目指します。
- VI. 新しい時代に対応した組織運営体制を確立し、財務規律のさらなる強化を図り、公正で安定した経営を目指します。
- VII. 地震や津波などの自然災害時に備えた危機管理体制を確立し、また個人情報などのコンプライアンスに更に努めます。
- VIII. 新型コロナウイルス対策に積極的に取り組み、利用者及び職員の生命と安全を守ることに努めていきます。

1. 組織管理

2022年度は、新たに課長2名・主任4名の昇格とともに、課長・主任合わせて5名の事業所異動を実施し、人事の活性化及び役職者育成により、今後に向けた組織強化・体制の安定を目指していきます。役職向けの研修も実施することで、管理職として経営やコンプライアンスを含めた事業運営力、責任感、管理意識をより高めていくよう取り組みます。課題の総務や経理統括の引継ぎも本格的に進めていきます。

一般職員についてもサービス管理責任者など責任ある職務への引き上げや、研修やOJT等により、次世代の主任候補者育成を目指していきます。

監事については、引き続き法人のチェック機能としての役割を果たしていただけるよう協力して進めていきます。

2. 財務管理

利用者の状態変化が進む中、安全性の確保や支援の充実・職員の負担軽減のための人員増や派遣職員に頼らざるを得ない状況による人件費の増加、採算を取ることが難しい事業の収支が更に悪くなっている事、借入金の返済が必要である事、などから単年度収支が厳しくなっています。今後も安定した法人運営が継続できるように、適切な人件費支出・人員配置、利用率の確保などを意識するとともに、採算を取るのが難しい事業の支え方（若しくは整理）も考慮しながら、収支バランスを考えていきます。また各事業所に本部から定期的に巡回し、経営状況を把握するとともに、各課長の会計把握力の向上、本部での会計コントロールも進めていきます。

公認会計士等外部の専門家も継続して活用し、指摘・指導を受けた事項に対する改善を進め、引続き財務規律強化も取り組んでいきます。

3. 人材マネジメント

①人材確保

新卒採用については、マイナビ・リクナビ等の人材募集媒体を活用してエントリー者を増やし、オンライン個別説明会に繋がります。また、社会福祉協議会主催の就職フェアにもブースを出し採用に繋がります。さらに学校訪問も行います。特に一羊園付近の学校に訪問し広く採用活動を進めます。

法人のホームページは多くの就職活動中の学生が見るので、新着記事の更新や活動の様子の動画を多く載せて一羊会の活動をアピールします。また2022年度は採用ページを改善して、スムーズに説明会や応募にエントリーできるような画面構成に変更します。

中途採用については、ハローワークやジョブメドレーといった人材紹介業者の活用、また派遣職員の採用を通じて、人材の確保に努めます。

②人材育成と定着

一羊会研修システムに基づいて、人材育成を実施していきます。しょうがい特性や支援方法について学ぶ新人研修、支援する上で大切な視点を学んでもらう3年目のアセスメント研修など、各階層別に必要な研修を実施します。主任には次世代管理職として必要な知識・技能を学んでもらいます。管理者もリーダーシップを養う研修を受講します。一般職員向けの研修は、研修部会が企画・実施します。権利擁護・虐待防止の研修は継続し、さらに精神医療の研修や利用者サービスの根本を考える研修も実施します。また法人職員から採ったアンケート内容を取り入れた研修も企画します。

人材の定着については、研修などでスキルアップをし、業務に対してのモチベーションをあげてもらふこと、風通しの良い職場環境作り、職場環境の分析、労働環境の向上、に取り組んでいきます。

4. 事業展開

グループホームについては、高齢化や疾病などによって

身体機能が低下し、既存のグループホームでの生活が困難になりつつある利用者が増えてきており、バリアフリーなどの住環境を整えていくことが必要です。

そのためにも、環境の整っている元浜ホームの活用を最優先の課題の一つとして位置づけます。担当部長を中心として、開設に向けての課題を検証し、それを元に問題点を解消して実現できるよう検討の場を設定し、2023年度のホーム開設を目標として取り組んでいきます。

北部の土地の今後については、話し合いを継続していきます。

2021年4月に竣工したすずかけ作業所ですが、利用者の高齢化に対応できる事業所をコンセプトにしており、開設当初より法人内他事業所からの利用者の受け入れを進めてきており、今後を見据えて2022年4月より定員を10名増して定員60名の多機能型事業所とします。

5. 利用者支援サービス

①就労支援

2022年度も利用者のしょうがいの程度・特性に合わせた業務内容と、事業所の利用者数に見合う作業量の発注について、行政への要望を行いながら作業量の確保に努めます。

自主製品については、売上増にむけての取り組みを行います。特に菓子については、2022年度にはネット販売を開始します。

就労継続支援事業B型の目標工賃（約¥30,000/月）達成に向けては、数年前からの大幅な作業収入減により厳しい状況ではありますが、利用者の状況やニーズ、生活介護事業との棲み分けを行い、それに沿った各事業所間の作業内容や量の調整を行い、目標工賃達成に向けて取り組みます。

高工賃を目指すすずかけ労働センターと上甲子園すずかけ作業所の利用者確保については、募集枠があるため、就労支援センターや相談事業所等の関係機関と連絡を取りながら、継続して募集を行います。

②日中活動支援

ここ数年の課題である、利用者加齢によるニーズの混在が大きな課題となっています。現状は、各事業所で必要な日中活動を工夫して実施していますが、将来的にも利用者が充実した毎日を送れる様に取り組んでいく必要があります。

利用者の加齢による状態変化がある中での日中活動の提供となりますが、個々のニーズを把握して必要な支援を提供していきます。同様に、若年、壮年の利用者についても、その人達に応じた日中活動をニーズ把握して提供していきます。

③支援専門性の向上

法人全体の支援力向上は、制度改正でさらに支援の質の向上が問われているので、質の高いサービス提供は法人としての責務でもあります。その為、法人内の研修部会・外部からのコンサルテーション・事業所内のOJTを中心として、支援員の専門性の向上を進めます。

研修部会については、事業所からの代表者を構成メンバーとし開催するので、現場が求めている研修内容を実施していけると考えています。また、法人内外の実践発表など機会があれば、積極的に職員の派遣を行い、支援員のスキルアップにもつなげていきます。

引き続き、法人として自閉症支援については外部よりスーパーバイザーを招き専門性の高いコンサルテーションの機会を確保します。

④権利擁護・虐待防止

法改正に伴い、2022年4月に虐待防止委員会を設置し運営します。権利擁護に関する取り組みは、権利擁護部会やサービス向上部会、リスクマネジメント部会、研修部会の各部会や管理者会議において役割分担の上で虐待防止のための研修や職場環境の改善などを進めていきますが、それぞれの部会で取り組んだ内容を管理者会議で集約し、年に4回程度開催する虐待防止委員会の定例会において報告・提案し、そこで検討された内容を各事業所における更なる取り組みに繋げます。

虐待防止委員会の役割は下記の通りとなります。各部会が担当し、管理者会議で集約の上、定例会において報告と情報共有を行います。

(虐待防止のための環境づくり)

- ・権利擁護に関する研修計画を策定し、各部会で役割分担して進めていきます。具体的には、虐待防止法や差別解消法に関する研修を実施することで、虐待に関する知識を深め、意思決定支援や高齢化対策を学ぶことで適切な支援が提供されるように努めます。
- ・権利擁護に関する意識向上のために、啓発ポスターの作成、掲示やマニュアルの作成、整備を進めていきます。
- ・職業倫理に関する意識の向上のため、行動規範評価を年2回実施し職員自身が振り返る機会を定期的に持ち、その結果を基に事業所ごとに意識向上に関する強化月間を実施します。

(虐待防止のチェックとモニタリング)

- ・各職員が定期的に自己点検し、その結果を集計して委員会で報告する。それを基に委員会において虐待が起りやすい職場環境の確認を行い、改善につなげる。
- ・個別支援計画の作成やサービス提供の過程で確認された個々の支援体制の状況・課題、サービス評価の結果を踏まえて、現場が抱えている課題を委員会で報告する。

(虐待(不適切な対応事例)発生後の検証と再発防止策の検討)

内容に応じ部長会議・管理者会議・危機管理委員会・懲罰委員会・虐待防止委員会を臨時で開催し、方針を検討したうえで当該事業所における対応を進めていくとともに、その他の各事業所においては情報を共有したうえで話し合いを持ち、再発防止に努めます。

(身体拘束等の適正化の推進)

虐待防止のチェックとモニタリングを進める中で、身体拘束等が行われている場合はそれが適正になされているかチェックを行い、委員会で報告する。

⑤危機管理

各事業所で起こった事故報告について、月に一度情報を共有し同じような事故が起こらないように啓発します。また、事故の要因分析を行い、大きな事故や繰り返し起きている事故の再発防止を検討します。

車両管理について、2022年より義務化されるアルコールチェックの方法を法人で検討し、実施していきます。また、毎年起こっている車両事故について、安全運転講習を実施し、件数が減少できるように対策を検討します。

各事業所で実施している避難訓練の情報を共有し、防災についての法人の課題を抽出し、それに向けた対策を実施します。また、年に一度安全運転管理者・防火管理者分科会を開催し、車両事故や消防に関する課題について検討します。

新型コロナウイルス感染症について、2021年度に行った対応をもとに今後起こりうる事態に備えて、準備を進めていきます。

⑥アート活動の推進

「すずかけ絵画クラブ」は、毎月の制作活動を実施しながら、11月には外部展覧会に参加する予定です。

あとリエ活動では、利用者が思い思いに表現活動をする場を提供するとともに、雑貨展への出展、独自の雑貨展の開催を通じて、作家としての利用者とその創作物の魅力を発信していきます。4月には自主企画の展覧会を開催します。2022年度からはあとリエでの工賃分配方法を変更し、より個人の売り上げに応じた適正な工賃分配を行ないます。

6. 地域連携・地域貢献

①障害児等療育支援事業

西宮をはじめ、近隣地域の本人や家族から療育に関する相談受付（外来）、家庭や保育所・幼稚園・学校や施設などへ訪問し、本人への対応方法や支援の工夫、環境整備、連携に関する提案を行います。それらを通じ、支援の質の向上を図り、それと同時に本人・家族・支援に関わる各機関などから、地域全体のニーズを把握します。把握したニーズを元に、それらに応じた研修会を企画す

ることで、支援のニーズのある人がより暮らしやすい地域になるように地域福祉の向上に寄与します。

②広報活動

2022年度も、ホームページ、フェイスブック、Instagramで各事業所の日々の活動について発信していきます。一羊会だよりについては発行時期を変更します。年3回発行というのは変わりなしですが、今まで年度初めの号が夏になってしまっていたので、2022年度からは、5月、8月、12月の発行にします。紙面作りについても、紙面内容の充実、見やすいレイアウトの工夫にも取り組んでいきます。また、採用活動に使う、写真撮影・動画作り・インタビュー記事作成なども行ないます。

③実践発表会の開催

2021年度は、オンラインで開催しました。コロナ禍においても、外部の方に法人の活動内容をお伝えできる一つの方法を確立できました。

2022年度も、新型コロナウイルス感染状況により開催方法は検討となりますが、実施に向けた準備を進めていきます。

より多くの方に参加していただくために、引き続き市政ニュースへの掲載依頼、関係団体への案内やホームページへの掲載、メール等での広報活動を幅広く行います。

④地域イベントへの参加

新型コロナウイルス感染状況により参加の判断となりますが、2022年度も様々な方法を模索しながら、可能な範囲で障害のある人たちへの理解をすすめる啓発イベント等への参加や出店を行います。

⑤地域貢献

下記の各会合及び団体との連携をとり、障害分野だけではなく児童・高齢分野も含めたネットワークの構築を進めていきます。ネットワークを活用して『防災』や『人材確保・育成』などの課題解決を進めていくことで、地域福祉の推進に寄与していただけるように取り組みます。

また、大学や専門学校からの依頼を受けて、社会福祉士資格等を取得する為の実習生の受け入れを行い、実習を通して福祉分野に携わる人材の育成に貢献していきます。

<参加及び連携している団体>

市内	市外
西宮市障害福祉計画策定委員会	兵庫県知的障害者施設協会
西宮市障害者施策推進懇談会	近畿地区知的障害者施設協会
西宮市社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんねっと西宮）	きょうされん兵庫支部
自立支援協議会運営委員会、事務局会議、各部会	兵庫県社会就労センター
ジョブステーション西宮	近畿社会就労センター
西宮ふれあいネットワーク	NPO法人兵庫セルプセンター
西宮市児童通所支援事業所連絡会	
西宮商工会議所	
西宮青年会議所	
西宮市社会福祉協議会	
西宮市手をつなぐ育成会	

2022年度 法人単位資金収支予算

(自) 2022年4月1日 (至) 2023年3月31日

(単位:円)

勘定科目		2022年度予算額	2021年度予算額	増減額	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	124,605,200	127,734,400	- 3,129,200	
	障害福祉サービス等事業収入	1,329,244,170	1,288,541,713	40,702,457	
	経常経費寄附金収入	3,915,000	4,151,700	- 236,700	
	受取利息配当金収入	20,283	20,233	50	
	その他の収入	11,792,370	14,068,420	- 2,276,050	
	事業活動収入計 (1)	1,469,577,023	1,434,516,466	35,060,557	
支出	人件費支出	1,035,958,750	992,842,362	43,116,388	
	事業費支出	144,745,271	140,756,853	3,988,418	
	事務費支出	154,187,678	168,929,790	- 14,742,112	
	就労支援事業支出	124,218,622	129,353,583	- 5,134,961	
	支払利息支出	520,274	545,849	- 25,575	
	その他の支出	7,286,500	7,136,500	150,000	
	事業活動支出計 (2)	1,466,917,095	1,439,564,937	27,352,158	
事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	2,659,928	- 5,048,471	7,708,399		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	3,539,999	- 3,539,999	
	施設整備等寄附金収入	0	1,237,000	- 1,237,000	
	設備資金借入金収入	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	510,000	- 510,000	
	施設整備等収入計 (4)	0	5,286,999	- 5,286,999	
	支出				
設備資金借入金元金償還支出	6,072,000	6,072,000	0		
固定資産取得支出	8,361,800	19,032,096	- 10,670,296		
固定資産除却・廃棄支出	0	28,391,226	- 28,391,226		
ファイナンスリース債務の返済支出	3,449,952	4,708,924	- 1,258,972		
施設整備等支出計 (5)	17,883,752	58,204,246	- 40,320,494		
施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	- 17,883,752	- 52,917,247	35,033,495		
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	27,200,000	1,680,000	25,520,000	
	その他の活動による収入	975,824	10,342,471	- 9,366,647	
	その他の活動収入計 (7)	28,175,824	12,022,471	16,153,353	
	支出				
	積立資産支出	12,952,000	12,565,000	387,000	
	その他の活動による支出	0	0	0	
その他の活動支出計 (8)	12,952,000	12,565,000	387,000		
その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	15,223,824	- 542,529	15,766,353		
予備費支出 (10)	1,000,000	5,700,000	- 4,700,000		
当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	- 1,000,000	- 64,208,247	63,208,247		
前期末支払資金残高 (12)	264,282,129	328,490,376	- 64,208,247		
当期末支払資金残高 (11) + (12)	263,282,129	264,282,129	- 1,000,000		

Cookies, Cakes
&
Crafts
SUZUKAKE



オープンのお知らせ

おかし工房
SUZUKAKE STORE

2022年4月15日にすずかけクッキーのオンラインショップがオープン致しました。

オンラインショップでは、ビスケット、ミックスクッキー、チョコアーモンド、いちじクッキー、チョコバナナの全5種類を販売しています。

オープン記念として、期間限定で“2500円以上ご購入の方への送料無料キャンペーン”を行っていますので、是非この機会にお買い求めください。

遠方の方や、コロナの影響などによりなかなか外出できない方にも「すずかけクッキー」をお楽しみ頂けたら幸いです。

2500円以上お買い上げで
送料無料
キャンペーン実施中!
期間は2022年7月14日
16:00まで



【おかし工房SUZUKAKE STORE】
URL <https://suzukake-okashi.stores.jp/>

追悼

川越 公一さん

川越さんは1977年、一羊園創立後まもなく入所され、以後44年の月日を一羊園で過ごされました。

昔を知る職員によると、新任職員には率先して握手をして和ませて下さり、農地の草運びに意欲的で、毎月のお母様との面会を楽しみにされる等、一羊園の皆さんと一緒に園での生活を楽しんでおられたそうです。

ここ数年は車椅子での生活となっていました。大好きな仮面ライダーのDVDを観ながら変身ポーズをされるなど、川越さんらしい日々を送っておられました。

川越さん、ありがとうございました。
心からご冥福をお祈りいたします。

一羊園 支援員 森田 悟

國澤 佳代子さん

大好きなお風呂からなかなか上がってくれない時、苦手な食べ物は口を閉じて頑として食べない時、「意思を主張できる強い人だな!」と思いました。普段はなかなか立ってくれないのに、リハビリの時は大好きなPTの先生と笑顔いっぱい歩く國澤さんは「すてき!」と思いました。更衣や移動時に自分で出来る事を協力しようとしてくれる國澤さんに「ありがとう」と思い、視線が合うととても幸せな気持ちになりました。

ご機嫌な時には、「ゴリラ」「バス」など好きな言葉で色々お喋りして皆を和ませてくれましたね。みんなをやさしい気持ちにしてくれてありがとう。あなたの笑顔を忘れません。これからもみんなを見守って下さいね。

一羊園 支援員 片山 みどり



公益財団法人 神戸やまぶき財団様

このたび、公益財団法人神戸やまぶき財団様より送迎用の車両（新車）購入のための補助金をいただきました。現在のコロナ禍、ウクライナ等の世界情勢による部品不足から納車は9月以降になる予定です。

カノンのような放課後等デイサービス事業にとって送迎は必須の付帯サービスとなりました。新しい綺麗な車がやってきましたら、また気持ちも新たに、お子さまたちを快適に安全に送り迎えしていきたいと思っております。やまぶき財団様ありがとうございました。

カノン 課長 伊藤 俊治



法人・事業所御寄付の報告(敬称略・順不同)

2022年1月1日～2022年3月31日

*法人									
三浦昇	塩谷健介								2件
*一羊園									
高野重子	河津睦子								2件
*すずかけ労働センター									
西宮グリーン(株)	すずかけ労働センター保護者会								2件
*武庫川すずかけ作業所									
塩口正之	平野弘子(3件)	丸山恵美子	匿名1名						6件
*ジョイント									
中西恵子									1件
*上甲子園すずかけ作業所									
上甲子園すずかけ作業所保護者会									1件

いつもご協力・ご支援ありがとうございます!!

2021年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2022年2月1日～2022年3月31日までのご入金分を掲載)

*個人の部									
神結慶子	黒田輝子	簾編宗秋(2口)	千翔有峰	三浦昇(3口)	上甲子園すずかけ作業所保護者会(14口)				6件

2022年度一羊会後援会会費(敬称略・順不同)

(2022年2月1日～2022年3月31日までのご入金分を掲載)

*法人・団体の部									
(一財)高友福祉積善会									1件
*個人の部									
森田順	山本圭吾(2口)								2件

2021年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2022年2月1日～2022年3月31日のご入金分を掲載)

*法人・団体の部									
上野神社	関西学院高等部	関西学院中学部生徒一同	(学)神戸女学院チャプレン室						4件
*個人の部									
井上和巳	井上尚子	大目修平	神結慶子	黒田輝子	高谷知子	早川典江	万竝建二	光武眞里	
横山潤・正代									10件

2022年度一羊会後援会御寄付(敬称略・順不同)

(2022年2月1日～2022年3月31日のご入金分を掲載)

*個人の部									
森田順									1件



2021年度、新たに9名の方にご入会いただきました。

また、夏から設置を始めた募金箱は、総額26,467円の募金が集まりました。

みなさまには多方面からご支援いただき、心より御礼申し上げます。2022年度もどうぞよろしくお願いいたします。

口座名義 一羊会後援会

【銀行】三井住友銀行 西宮支店 普通 3007061

【郵便振替口座】01190-8-66322

※受領証については、払込取扱票の振替払込請求書兼受領書をもって後援会の受領証とさせていただきます。

別途受領証が必要な場合はお知らせください。

◆ 訃 報 ◆

すずかけ作業所、はなまるホーム所属の長崎早百合さんが、2022年4月14日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。